

〈国語科〉 1年

現在の分析

〈国語への関心・意欲・態度〉

- ・ほとんどの児童が高い関心・意欲を示している。学習した字を使った言葉集めや音読練習などに熱心に取り組んでいる。学習時は手を挙げて発言する意欲の高い児童が多い。

〈話す・聞く能力〉

- ・人前で話すことが苦手な児童が多かったが、段々と授業中に発言できるようになってきている。
- ・「いつ、だれと、なにを」などまとまった長い文で話せるようになってきている。
- ・教員が促せば、話す人の方を向いて話を聞くことができている。

〈書く能力〉

- ・ほとんどの児童がひらがな50音を書くことができる。しかし、手本をよく見て字形を整えて書いたり、正しい書き順で書いたりすることが身に付いていない児童がいる。
- ・「～が～」といった簡単な文を書けるようになってきた。

〈読む能力〉

- ・音読が好きな児童が多く、大きな声ですらすらと読める児童が増えている。ただし、中には読むことがたどたどしい児童も見られる。

〈言語についての知識・理解・技能〉

- ・「は、を、へ」などの助詞や句読点などの文章表記について気を付ける子が増えている。
- ・長音・拗音・促音・撥音など正確に読めるようになってきた。

重点課題

〈国語への関心・意欲・態度〉

- ・現状の関心・意欲・態度を持続させていくこと。

〈話す・聞く能力〉

- ・恥ずかしがらずに話そうとする態度を育て、大きな声ではっきりと話せるようにすること。
- ・何でも安心して話せる学級の雰囲気を作ること。 ・先生や友達の話の話を静かに最後まで聞けるようにすること。

〈書く能力〉

- ・書き順、字形に気をつけ、文字を正しく丁寧に書けるようにすること。

〈読む能力〉

- ・書かれている内容や場面の様子をとらえながら読み取りができるようにすること。
- ・進んで、楽しく読書しようとする姿勢を習慣付け、文字や文章に慣れること。

〈言語についての知識・理解・技能〉

- ・語彙を増やすとともに、「は・を・へ」などの助詞や句読点を正しく使えるようにすること。
- ・長音・拗音・促音・撥音などが正しく書けるようになること。

授業改善策

〈国語への関心・意欲・態度〉

- ・単元の最後に音読劇などを計画するなど、学習の楽しさを味わえる活動を組み入れること。
- ・一人一人の思いや考えを全体の中で認め、広く受け入れていく。
- ・発言の仕方や聞き方など、学習規律の共通理解を図り、学習環境を整える。

〈話す・聞く能力〉

- ・話型や手本を示して、自分の伝えたい事柄を詳しく、分かり易く発表できるようにする。
- ・ペア学習を取り入れ、単元の中で大切な話型を何回も使えるようにしていく。
- ・聞き取ったことを確認したり、聞くときの観点を示して互いに評価したりして、話の聞き方を習得させていく。
- ・相手や場に応じた言葉遣いがあることを繰り返し指導する。

〈書く能力〉

- ・文を書かせる際は、主語と述語の関係や「は、を、へ」などの助詞や句読点、かぎ「」の使い方など、観点を示し、見直しをさせながら身に付けられるようにしていく。
- ・書いたことを友達と読み合ったり、よいところを見付けて感想を伝え合ったりして、書くことへの関心を高める。

〈読む能力〉

- ・話す聞くスキルや音読カードを活用し、文字に慣れさせるとともに、すらすら読めるようにする。
- ・登場人物の行動や言動に着目しながら、読書を楽しんだり、想像を広げたりすることで読みを深めていく。

〈言語についての知識・理解・技能〉

- ・長音・拗音・促音・撥音などが正しく書けるように繰り返し指導していく。
- ・指書きやなぞり書き、写し書きをさせる活動を多く取り入れ、美しい字形で文字が書けるようにする。
- ・しりとり遊びなどの遊びを取り入れながら、言葉集めをし、語彙を増やしていく。

